

ONE23

東京 23 区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」

2013
SPRING
Vol.12

東京23区の 伝統文化・行事をご紹介!

- 「歩く」 渋谷区「春の小川」の散策コース
- 「知る」『東京 23 区統計データ』調べもの日乗【番外編】
- 「学ぶ」OU講座紹介、新宿区文化施設魅力紹介展示
- 「食べる」ハーブティーは江戸時代にもあった!?
- 「触れる」足立区、江戸川区、千代田区の見学・体験施設紹介



東京23区の
1度は見てみたい
伝統文化・
行事を
ご紹介!



足立区：花畑大鷲神社獅子舞
(足立区指定無形民俗文化財)
郷土芸能が盛んな足立区。花畑大鷲神社に江戸中期から伝わる獅子舞は大迫力です。(7月第3日曜開催)



荒川区：三河島菜・汐入大根
(あらかわの江戸伝統野菜)
江戸時代に荒川の地で栽培されていた伝統野菜。復活に向けた動きが始まっています。



板橋区：説経浄瑠璃
(東京都無形文化財)
仏教を伝える説経に三味線が加わり芸能化したものです。現在、三代目若松若太夫が活躍しています。



江戸川区：葛西の里神楽
江戸後期に伝わった神楽です。お囃子と所作だけで物語を表現する厳かな芸能です。



大田区：六郷神社子ども獅子舞
江戸時代から伝承される区指定民俗文化財。子どもだけの獅子舞は全国的にも珍しい。



葛飾区：葛飾区伝統産業職人会まつり
伝統工芸品の展示・実演・即売会で5月に開催され、職人の巧みな技に触れることができます。



北区：王子神社例大祭の「王子田楽」
毎年8月、例大祭の最終日午後後に地域の子もたちが躍り手となって執り行われます。



江東区：深川の力持
米俵や酒だるなどの運搬から芸能として発達したもので、力自慢の曲技が披露されます。



品川区：江戸の里神楽
間宮社中により継承され、江戸時代から神社の祭礼時に奉納されている、国指定の重要無形民俗文化財です。



渋谷区：代々木もちつき唄
代々木地区で古くから伝わるもちつき唄。毎年2月1日に代々木八幡宮で保存会員が歌いながらもちをつきます。



新宿区：地場産業「染色」
神田川・妙正寺川沿いに集積し、川面に染め物を飾るイベント「染の小道」等を実施しています。



杉並区：荻窪白山神社の女みこし
毎年、秋季例大祭で担ぎ手が女性だけのおみこしが荻窪のまちを練り歩きます。



墨田区：隅田囃子
太鼓や笛の高度な掛け合いが特徴の祭囃子で、隅田川神社の祭礼などで演奏されています。



世田谷区：奥澤神社の大蛇お練り行事
(世田谷区指定無形民俗文化財)
江戸時代の中頃より厄除けを祈念し、毎年9月に約10mのワラの太蛇が街を練り歩き、神社の鳥居に飾られます。



台東区：江戸手描提灯
台東区で行われる多くの祭りで欠かせない提灯は、職人が1つ1つ手描きしています。



中央区：もんじゃ焼き
「もんじゃストリート」として全国的に有名な月島仲通り。約60店が軒を連ねます。



千代田区：神田祭
江戸三大祭りの一つとして江戸の伝統を守り伝えてきた神田祭は、本年5月、4年ぶりに開催されます。



豊島区：長崎獅子舞
(区指定無形民俗文化財)
三頭の獅子が太鼓を打ち鳴らしながら勇壮に舞います。5月第2日曜日に長崎神社で奉納されます。



中野区：東京手描友禅
染め物の手法の一つで、江戸時代中期から発達しました。毎年行われる「中野区伝統工芸展」にて区内の職人が実演します。



練馬区：祭囃子
現在16の囃子団体が活動し区内各所にある神社の春・秋の祭礼等で上演しています。



文京区：伝統工芸「東京銀器」
江戸時代から伝わる高度な技術で銀や金を加工し、食器などの生活必需品や装飾品などが作られています。



港区：伝統工芸「江戸表具」
平成24年度港区指定の無形文化財に認定され、3名が保持者として活躍しています。



目黒区：碑文谷彫
木の命を美しく再生させる素朴な手工芸アートで、楽しみながら誰でも作れるのが特長です。

※掲載はあいうえお順です。

歩く

春の散策は何かと発見が多いものです。
心地よい季節を満喫しながら
歴史と文化もちょっと勉強しちゃいましょう！

渋谷区 代々木駅周辺



① 明治神宮(北参道)

明治神宮は明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社で、東京ドーム15個分の鬱蒼とした森は、明治神宮を創建する際に全国から寄せられた木々を植林したものです。境内には湧水の「清正井」などがあり、参拝がてらゆっくり歩きたいです。



..... 「春の小川」の散策コース



② 高野辰之住居跡

国文学者として有名な高野辰之氏は、明治42年からこの地に住みました。近くに流れていた河骨川こうほねがわをイメージして文部省唱歌「春の小川」を作詞しました。



③ 参宮橋公園

緩やかな坂道を上っていくと、芝生とウッドデッキが印象的な、とても気持ちの良い公園が現れます。植えられている花の種類も多いそうです。



▲「春の小川」歌碑

④ 春の小川道

「春の小川」のモデルこうほねがわ「河骨川」は、現在暗渠となっているので、かつて川が流れていた付近に広告が設置されています。(「春の小川」歌碑は代々木八幡方面線路沿い(代々木 5-65)にあります。)

ちょっと寄り道しませんか

刀剣博物館

刀剣博物館は常設館であり、常に刀剣類と刀装・刀装具を展示しています。平常は、「古刀新刀名作展」等として、平安時代から現代にわたる著名刀工の名品を展示し、さらに特別展として「重要刀剣等新指定展」、「特別重要刀剣等新指定展」等を行っています。平成25年1/5(土)～5/12(日)まで「春のよそおい～刀剣・刀装・刀装具にみる植物の意匠～」と題した展示を行っています。
▲日本刀の素材「玉鋼」(売店で販売中)

会館時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで) 休館日：毎週月曜日および年末年始
観覧料：一般600円、会員・学生300円(小・中学生無料、団体は一般10名以上1人300円、引率者1名無料)

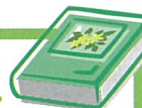


博士気分の春散歩

春は花や植物が元気な季節です。歩きなれた散歩コースでも名前がわからない花が咲いていたりすることもしばしばです。

そこでコンパクトサイズの植物図鑑をウエストポーチやリュックにしるばせて散歩に出かけてみてはどうでしょう!花の名前や情報を調べながら散歩するといつも見ていた景色がより鮮やかになりそうな気がします。

ただし、図鑑のチェックは立ち止まって安全なところでお願いします。



知る

23区をもっと知ってもらいたい。

特別区自治情報・交流センターでは、統計データ、書籍をそろえて、皆さんのお越しをお待ちしています。

『東京 23 区統計データ』調べもの日乗【番外編】 「特別区統計情報システム」の新機能「地図表示機能」をご紹介します！

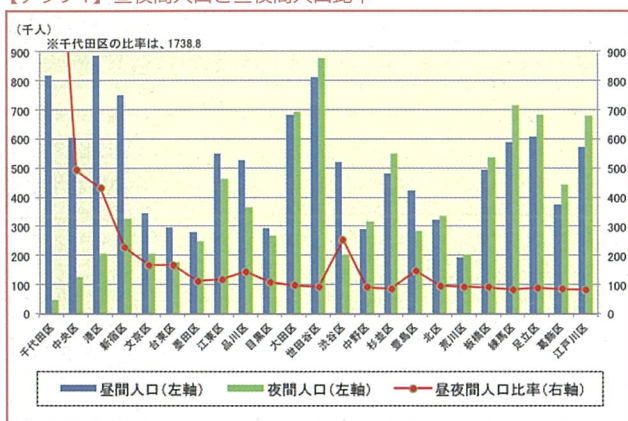
昨年夏から「特別区統計情報システム」に、区ごとのデータを色分けして23区を表示する「地図表示機能」が搭載されました。

色分けは、23区全体でも、区を選択して（例えば、隣接区、

山の手線内の区、幹線道路の沿道区など）表示することができます。またモノクロで表示する機能もあります。

今回は、昼夜間人口を題材に、平成22年国勢調査のデータを使って、「地図表示機能」を紹介します。

【グラフ1】昼夜間人口と昼夜間人口比率



■ 昼間人口トップは港区 88 万 6 千人、 夜間人口トップは世田谷区 87 万 7 千人、 昼夜間人口比率トップは千代田区 1738.8

グラフ1は、東京23区における昼間人口（棒グラフ・青）、夜間人口（棒グラフ・緑）、昼夜間人口比率（折れ線グラフ・赤）を表したものです。棒グラフを見ますと、人口50万人以上の区が夜間人口では7区、昼間人口では12区となっています。

折れ線グラフの昼夜間人口比率を見ますと、12区で100を超え（昼間人口が多い）、特に都心3区では400を超えています。一方11区が100を下回っています（夜間人口が多い）。

グラフ（表も含め）は、一般に最大・最小や経年変化などを表すには適していますが、分布状況などを読み取るには適していません。

■ 色分け地図で表示する

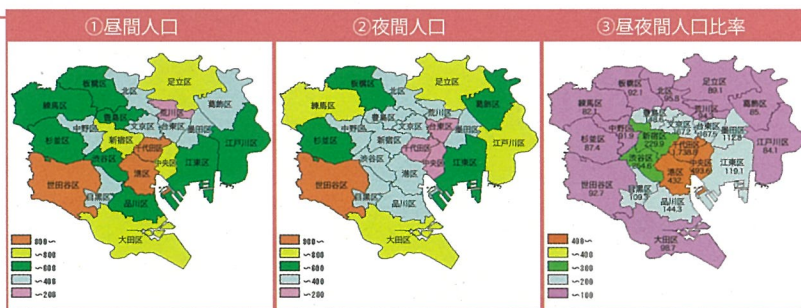
上記グラフ1を色分けして表示したものが、右の地図1です。

【①昼間人口】昼間人口では、人口の多い区と少ない区が概ね分散しています。

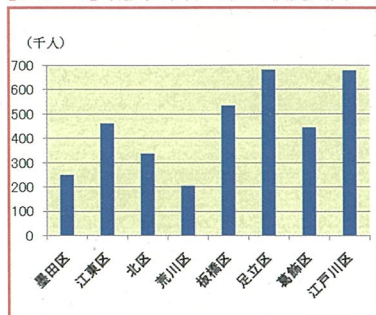
【②夜間人口】夜間人口では、周辺部の区が多く、中心部の区が少ない傾向が分かります。

【③昼夜間人口比率】昼夜間人口比率では、100を下回っている区が周辺部の11区であることが分かります。地図で表示すると、分布状況がよく分かります。

【地図1】昼間人口、夜間人口と昼夜間人口比率



【グラフ2】荒川に面する区の夜間人口



■ 区を選択する、モノクロで表示する

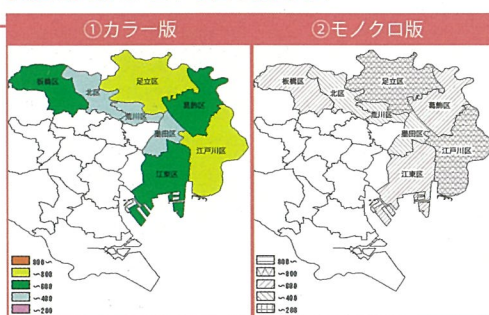
グラフ2は、荒川に面する区の夜間人口を表したものです。

地図2は、その区だけを選択して、カラー及びモノクロで表示したものです。

荒川に面する区の住民は、合計約360万人。各区には地図2のように分布しています。

区を選択して地図表示する機能は、いろいろ応用できます。

【地図2】荒川に面する区の夜間人口



執筆の際に地図作成で利用した「特別区統計情報システム」は、以下のアドレスからアクセスできます。

またシステムの利用に関するマニュアルも掲載しています。（ダウンロード可） <http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>

学ぶ

あなたの「学びたい」気持ちにお応えする
東京区政会館の学べるスポットをご紹介します。

首都大学東京講座

東京区政会館3階では、どなたでも学べる「首都大学東京オープンユニバーシティ（OU）」を開講しています。様々な講座から、特別区協議会との共同講座を紹介します。

特別区協議会との共同講座 申込み方法をご覧ください。

豊島氏の足跡

日時	5月22日(水)14:00～16:00 5月29日(水)13:30～16:00
講師	練馬区立石神井公園ふるさと文化館 学芸員 渡邊 嘉之
受講料	4,900円(全2回)

豊島氏は、南北朝期頃から現練馬区内にあたる石神井郷に進出し、文明9(1477)年に太田道灌に攻め落とされるまで石神井城を本拠としました。

第1回は豊島氏の足跡に関する講義、第2回は石神井城周辺を探訪します。

※5月29日の集合場所は練馬区立石神井公園ふるさと文化館。

●申込み方法

原則、各講座開講の2週間前までにお申込みください。定員に達し次第、締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒に支払ってください。

お申込み後、銀行振込・払込票・クレジット（WEB申込みの場合のみ可）のいずれかで受講料をお支払いただいた後、「受講のご案内」をお送りします。

申込み先

首都大学東京オープンユニバーシティ窓口
電話：042-677-2362（平日9時～19時）
WEB：http://www.ou.tmu.ac.jp/

新宿区文化施設魅力紹介展示

歴史と文学・芸術のまち新宿

新宿区には豊かな歴史と伝統があり、また著名な文学者や芸術家が多く住んでいました。

今回は、こうした文化の香り高いまち新宿区内にある新宿歴史博物館、ベストセラー『放浪記』で有名な小説家林芙美子の「林芙美子記念館」、夭折の天才画家佐伯祐三の「佐伯祐三アトリエ記念館」、そして国の重要文化財『エロシェンコ氏の像』を描いた洋画家中村彝つねのアトリエを整備し公開している「中村彝アトリエ記念館」（本年3月17日下落合に開館）を紹介します。

アトリエの中村彝

展示スケジュール

《開催日》
平成25年4月4日(木)～4月25日(木)
(日曜を除く)

《展示時間》
平日9:00～20:30
土曜日9:00～17:00

《会場》
東京区政会館1階 エントランスホール



(写真提供：横須賀美術館所蔵)

今回の展示は、練馬区文化施設魅力紹介展示。平成25年5月の開催を予定しています。

食べる

ホッと一息!

様々な香りを楽しめ、健康にも良い飲み物
ハーブティーのお話です。



ハーブティーのアレコレ



江戸時代にもハーブティーがあった?

独特な香りと健康効果で人気のハーブティー。スーパーマーケットに様々な種類がならんでいたり、ファミリーレストランなどでも気軽に飲めるようになりました。

ハーブティーというと西洋的なイメージがありますが、日本でも昔から「ドクダミ」「柿の葉」「桑の葉」などを使った薬湯が飲まれてきました。「ハーブ」というのは薬用の薬草やスパイスのことを意味するので、日本でも昔からハーブティーが飲まれていたことになります。

江戸時代中期以前は、お茶が高価だったので、味より薬効を重視したハーブティーがよく飲まれていたそうです。

また、「香煎」という炒り米・陳皮・茴香・^{ういきょう}粉山椒を

混ぜたものに湯を注いで飲む「ミックスハーブティー」のようなものまであり、飲むと口内がスッキリして、胃腸が健康になるといわれていたのだとか。

江戸時代のハーブティーは漢方に近いようなので、顔をしかめながらのティータイムがあったのかもかもしれません。



健康的なティータイムを

飲んで健康維持が期待できる!

ハーブティーも様々あるのでいくつか効能をご紹介しますと思います。

まず「ドクダミ」は抗酸化成分のクエルシトリンが利尿解毒、便秘解消、毛細血管強化などの効果があるといわれています。

「柿の葉」はレモンの約 10~20 倍のビタミンCが含まれ、美肌・美白・肌荒れ・ニキビ予防に効果が期待できます。

「桑の葉」は特有成分「DNJ」が血糖値・血圧を下げ、豊富なミネラルが体の健康維持に効果的だといわれています。

気軽に続けられそうなので皆さんも是非おためしください。



ドクダミのちょっと使える話

民間療法で昔から使われてきた「ドクダミ」は虫さされやおできなどの化膿止めにも効くのだそうです。事実、ドクダミの独特な匂いのもととなる物質には抗菌作用があり、これが作用して症状を改善してくれるようです。 ※肌の弱い方は気をつけて使ってくださいね。



触れる

東京 23 区には様々な、見学・体験ができる施設やお店が沢山あります。

技法、技術など興味深い体験講習をご紹介します。

松崎人形 幸一行

足立区 / 見学・体験



美術大学で彫刻を学んでいた松崎さんは、父・二代目 松崎昭玉さんの急死を受けて、21歳で人形師の道に入りました。それから約40年。業界でも珍しい「衣裳着」「木目込」の両方を手がける工房を運営しています。独自性をはっきり出すため、人形の「かしら(頭)」の型を自ら作りました。納得のいく表情ができるまで10年かかったそうです。



住所：足立区栗原 2-4-6
営業時間：9:00～17:00 定休日：土・日曜
TEL：03-3884-3884 FAX：03-3884-3886
HP：http://www.koikko.com/
見学・体験：事前予約必要
アクセス：東武スカイツリーライン西新井駅東口徒歩10分

見学

「江戸衣裳着人形」および「江戸木目込人形」の製造工程を見学できます。この2種類の人形の工程を同時に見られるのは、「幸一光」ならではです。

料金：無料 所要時間：1時間程度
定員：5～10名程度 対象：小学校高学年以上
見学可能日：平日 10:00～18:00

体験

小学校高学年以上の体験学習を受け入れています。詳細はお問い合わせください。

料金：要問合 所要時間：2時間程度
定員：5～10名程度
対象：小学校高学年以上(一般は不可)
体験可能日：繁忙期(11～3月)を除く

篠原風鈴本舗

江戸川区 / 見学・体験



江戸時代から伝えられるガラス風鈴。現在も作り続けている都内ただ1軒の工房です。篠原儀治氏は、風鈴の区登録無形文化財保持者であり、平成16年に名誉都民の称号を贈られました。細いガラス管の先に溶かしたガラスを付けて、息を吹き込んでふくらませる名人技を息子・孫と一家で守っています。(江戸川区「えどがわ百景」認定)

●えどがわ百景の詳細はこちら → <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/edogawa100/index.html>



住所：江戸川区南篠崎町 4-22-5
営業時間：9:00～18:00 定休日：日曜・祝日
TEL：03-3670-2512 FAX：03-3677-2552
HP：http://www.edofurin.com/
見学・体験：事前予約必要(7～9月の繁忙期は不可)
アクセス：都営新宿線瑞江駅 徒歩12分

体験① 絵付けだけの体験

ガラスをふくらます見学をし、仕事の説明、質疑応答を経て、風鈴絵付け体験をします。

料金：1200円
所要時間：1時間程度
定員：60名まで

体験② ガラス吹きからの体験

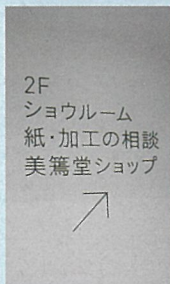
職人さんに手伝ってもらいながら一人ずつガラスをふくらめます。ガラスが冷めてから絵付けをし、そのあと風鈴が鳴るように糸をつけます。

料金：1700円
所要時間：1時間～1時間45分程度(人数によって変動)
定員：30名程度

※体験①②のほか見学のみのコースもあります。体験できた風鈴は、当日お持ち帰りいただけます。

美簀堂ショップ

千代田区 / 体験



見本帖本店内2階にある製本工房です。ワークショップでは、和装本・絵本製本・角背上製本・文庫製本など、手製本の本作りを体験できるほか、ショップではオリジナル商品である上製ノート、ブロックメモ、カードスタンド、本や本にまつわる雑貨を買うことができます。製本部門では、受注製本も承ります。



住所：千代田区神田錦町3-18-3 錦ビル2階 見本帖本店内
営業時間：10:00～19:00 定休日：土・日・祝日
TEL・FAX：03-5282-3265
HP：http://www.misuzudo-b.com
体験可能日：詳細な日程はHPにて
アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線 神保町駅 徒歩8分

体験① ブロックメモノートブック製本

様々な色味のブロックメモ一つ選び、小さなノートを仕立てます。材料はご自宅でもできるよう、3冊分をご用意します。製本が初めての方向き。

料金：4200円 所要時間：1時間半程度
定員：10名程度

体験② 文庫上製本

お好きな文庫本と布をご持参いただき、上製本を作ります。布は200×300mm(出来れば綿)を2枚お持ち下さい。材料はご自宅でも出来るよう、2冊分をご用意します。ほかの製本体験をされた方向き。

料金：5000円 所要時間：2時間半～3時間 定員：10名まで
※ワークショップは、体験①②のほかにも多数あります。詳細はHPまで。

見学・体験をするにあたってのお願い

- 事前予約が必要な場合は、必ず予約をお願いします。
- 無断や直前のキャンセルは、ご遠慮ください。
- 安全に留意し、マナーを守ってご利用ください。
- 衣服が汚れることがありますので、作業しやすく汚れてもいい格好かエプロンなど持参してご参加ください。
- 掲載内容に変更がある場合がございます。詳しくは各店舗へお問い合わせください。



<http://www.research.tokyo-23city.or.jp>

〒102-0072

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館

電話 / 03-5210-9051

交通 / 東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分



「ONE23(ワン・ツー・スリー)」(春 vol.12)
2013年4月1日発行

発行 / (公財) 特別区協議会 事業部

企画編集・デザイン / 株式会社アートプレスト・株式会社YDS

印刷 / 株式会社キタジマ